

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 令和 7 年 3 月 10 日			
すこやかステップ野方(放デイ)					
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○			適切な基準は満たしていますが、利用者の成長に伴いやや狭いと感じる部分があるが、安全安心に過ごせる様にしています
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○			適切な職員配置を行っています。医療ケア児の利用者が増えてきている事もあり、早急に人員確保を致します
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		療育室床はクッション性のある素材を使用しています。	バリアフリー化で対応していますが老朽化等改善が必要な箇所を改善出来る様尽力致します
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		空気清浄機設置しています。また楽しく過ごせる様に季節毎に装飾を変えています。使用の都度、消毒をしています。	今後も継続して環境を整えます
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○			個別の場所を使用する事は可能ですが、部屋の移動時狭小部位があり往來が不十分な所があります。
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		都度職員間で話し合いをしています	まだまだ周知徹底が不十分な事もある為、徹底出来る様、研修や会議を行い業務改善に取り組みます。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者様の貴重なご意見を把握する事が出来、職員間で話し合い改善出来る様に尽力しています	改善できる部分は早急に対応させて頂きます。すぐに改善が困難な場合は代替が出来ないか、検討させて頂きます
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		問題発生時等、都度話し合いを行い改善に努めています	施設の改善等すぐに対応できない部分は代替を検討し、より過ごしやすい環境に整えています
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	運営側の第三者による外部評価は行われていません。	頂いたアドバイスが施設面の事が多く、全事業を改善出来ていない。すぐに対応出来る事業については早急に対応しています
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		施設内研修を定期的に開催。また必要時会議を開き改善出来る様にしている	外部研修の機会があれば積極的に参加をしていきます
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		毎月SNSにて投稿しています	利用者保護者全員が閲覧しているか不明な点があり、都度お知らせをして公表する様にしています
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		話した内容を職員間で周知、共有して支援会議を行い計画書を作成している。	送迎時の保護者との情報交換を積極的に実施し、相談対応等施行しその子供にあった計画を作成する様にしています
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		職員間で話し合いをして作成する様にしています	継続して施行していきます
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		計画に沿って、支援内容を検討し、施行していく様にしています	継続して施行していきます
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		○	重心児の為、標準化したアセスメントツールにそぐわない為利用していない	ツールの研修をして職員間で周知共有して利用出来る様検討します
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		施行しています	研修等施行し充実した内容になる様にしています
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		職員間で話し合い、作成しています	継続して施行していきます

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		職員間で話し合い、偏らない様に注意して作成しています	継続して施行していきます
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		こどもに合わせて計画を作成し、個別活動、集団活動を組み合わせる支援する為事前に職員間で話し合いを行う様にしています	継続して施行していきます
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		朝礼時等にその日の予定、施行内容等確認を行う様にしています	継続して施行していきます
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		施行内容、反省点等職員間で話し合い、改善点等を見直し業務報告等で共有出来る様にしています	継続して施行していきます
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		業務日誌に記載し、個々の問題表出時には看護記録やリハビリ記録等に残し、職員間で共有出来る様にしています	継続して施行していきます
	23	定期的なモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		個別会議を職員間で行い改善点等を表出させ支援に繋げる様にしています	保護者様とじっくりと長く話せる時間をなかなかとる事が出来ず今後ゆっくりと話が出来る環境を整える様、尽力していきます
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		管理者、看護師等でそのこどもを、よく担当している職員が参加する様にしています	継続して施行していきます
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		センター、相談事業所との連携等はありませんが、こどもの主治医等は保護者からの報告になっています	担当者会議等開催の際は積極的に参加しています
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		重心児の放デイ利用の為学校からの報告やこちらの連絡でこどもの支援に繋がる様に努力しています	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		就学の移行の際は相談員からの利用依頼がなされてからの情報共有になります	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○		相談員の方に相談する事はあります。また、送迎時等に保護者、学校の先生と報告や相談等こまめにする様にしております	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		重心児の為、感染リスクもあり地域のこどもとの接する機会は設けていません	外出支援はしております。公園や神社、お店、動物がみられる場所等へ行く様に努めております
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○		送迎時にはその日のこどもの状況、何をしたか等を毎回報告しております	継続して施行していきます
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		重心児の小事業所の為、家族支援プログラムや研修の機会の情報提供は施行出来ていません	相談等頂ければすぐに対応させていただきます
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に丁寧に説明を行う様気をつけております。	継続して施行していきます
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		連絡帳に記載したり、送迎時には必ずこどもの状況をお話をして対応させて頂いています	今後はご家族の意向を確認出来る様に面談時間を設ける等していく様尽力致します。

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		計画書を示しながら説明の上、サインを頂いています	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		送迎時にはその日のこどもの状況、何をしたら等を毎回報告し、話の流れから助言をする事があります	今後はもっと話を出来る様に面談等必要な時間や環境を整えて支援出来る様に尽力致します。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○	昨年は交流出来る様に会に保護者同伴で企画していましたが今年は利用者の数が増えた為保護者同伴の会を設ける事が困難となり開催出来ませんでした	場所の確保等を検討した上で今後開催をしていける様に尽力致します
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		連絡があった際は早急に対応しています	継続して施行していきます
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		HPやSNS等を活用しています。閲覧等のお声掛けして見て貰える様にしています	継続して施行していきます
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		職員間で研修を行い、気をつけています。	今後も職員間で研修を行い、十分留意出来る様にしていきます
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		分かりやすく難しい言葉を使用しない様に注意しています	継続して施行していきます
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	重心児対象であり、また施設の都合上等開催は困難です	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		職員内での定期的な研修、訓練を実施しています	今後はご家族様にも施行実施の内容を印刷して周知出来る様に尽力します
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		作成しています。職員間で研修、訓練をしています	あらゆる設定等での訓練を継続していきます
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		学校、もしくは保護者にこどもの状況を毎回確認しています	継続して施行していきます
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		医師の指示書に沿って対応出来る様に薬の使用方法等の研修訓練を行っています	継続して施行していきます
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画作成し、研修、訓練を行い、会議での意見等を基に安全管理出来る様に改善したりしながら支援しています	継続して施行していきます
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		こどもの状態等に合わせて、安全に過ごせる様に気をつけています。また、気付いた事があれば事前に改善し家族へ報告しています	継続して施行していきます
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットを共有し、対応策等で再発防止に気をつけて対応しています	継続して施行していきます
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		職員間で研修を行い、対応方法等を再認識して対応しています	継続して施行していきます
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		身体拘束の内容を研修煮で職員間で十分理解し、拘束のない様にしています	継続して施行していきます